

Y10b

Tycho Brahe の星表における星の同定

藤原智子 (京都大理)

Tycho Brahe は 16 世紀の天文学者で、「*Astronomiæ in Stavratæ Progymna smate*」(1572 年) というラテン語の著作がある。この著書には星表が含まれていて、星の名前、黄経・黄緯、方向、等級などが示されているが、Bayer 以前に書かれたため、星の名称が現在我々が用いているものとは全く異なっていて、資料として使い難い。しかし、彼の観測資料はケプラーの法則の導出にも使われており、信頼度が高く、変光星の研究資料(詳しくは恒星分科会の私のアブストラクト参照)としても十分に使用可能と思われる。そのため私は、その古い星の名前を参考にしながら、黄経・黄緯に歳差分の補正を加え、赤経・赤緯に変換して星の同定を行い、彼の観測記録を多くの人が参考資料として使える形にして提供する作業を進めており、その結果の一部をポスターで紹介する。